



学生支援のために
～こんな学生いませんか？～

学生相談室

多種多様な学生の様子と困り

日頃より学生達への教育・支援にご尽力されている教職員の皆さまへ

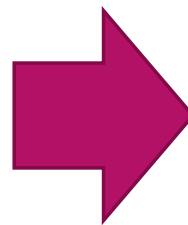
- ◆学生の困りごとにも多種多様です。
- ◆社会の変化に伴い、思わぬことが学生のストレス源になっていたり、悩み事への向かい方も人それぞれです。
- ◆そのため、学生がだすSOSを捉え本人なりの解決をサポートしていくことが重要です。
- ◆既に教職員の皆さまは実践されていると思いますが、改めて学生支援に活かして頂くと幸いです。



遅刻や課題の未提出が目立ったら・・・

こういう可能性は？

- ◆ 睡眠がとれていないのかも
- ◆ アルバイトで夜遅い生活が続いているかも
- ◆ 課題への注意集中が難しいのかも
- ◆ 取り組みの計画を立てることが苦手かも



- ・ 穏やかに、心配しているので話を聞きたいことを伝える。
- ・ 体調の困りごとがあれば共感的に対応し、学生相談室を紹介する
- ・ 課題の困りごとの場合は本人ができる対応策を考えたり、必要であれば相談室へ。

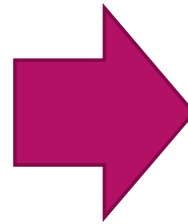
課題が苦手、講義中の困りなどについても、学生相談室でお話を伺うことができます



人前で話すことが苦手な様子...

こういう可能性は？

- ◆ 人前だと緊張するのもかも
- ◆ 周囲の反応が気になるのかも
- ◆ 内容そのものに自信がないのかも
- ◆ 会話や雑談など「コミュニケーション」全般が苦手なのかも



- ・ 穏やかに、声をかけて話をする
- ・ 理由に応じ、対応できそうな方法を探す
- ・ 失敗してもよい、安心してよい雰囲気
- ・ 発表を聞く側の姿勢も見守る
- ・ (例) 自分の席での発表でもよい、紙をみてもよい。

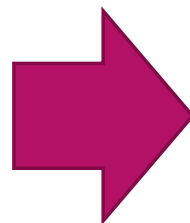


緊張がどうしても強い場合は無理せず、
別個で話を聞き
相談室へ繋いでください

教室に入れない・入りにくい様子…

こういう可能性は？

- ◆ 他者の視線が怖いと感じるのかも
- ◆ お腹が痛くなってしまうのかも
- ◆ 教室の環境（音など）が
苦手と感じているのかも



- ・ 穏やかに、声をかけて話をしてみる
- ・ 理由に応じ、対応方法を考える
- ・ （例）トイレ等で途中席を立ちやすい
雰囲気や環境作り
- ・ 可能であれば座る位置の調整など

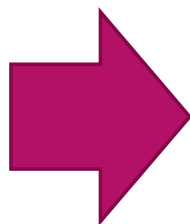


本人の困りが大きく、
医療や配慮なども視野にある
場合もございます。
相談室へお繋ぎください

グループ・ゼミ活動でなじんでいない・・・

こういう可能性は？

- ◆ 人の話を聞くことが苦手なのかも
- ◆ 会話の理解に時間がかかるのかも
- ◆ 苦手と感じる人がいるのかも
- ◆ 自分のことをうまく話せないと
思っているのかも



- ・ 穏やかに、声をかけて話をする
- ・ 理由に応じ、対応方法を考える
- ・ 課題理解のサポート
- ・ 共感的に話を聞く
- ・ (例) うまく話そうとせず、まずは聴くことが大切であることを確認する

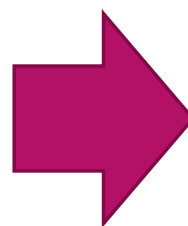


学生相談室では対人面含めた
グループ活動などについても
お話を伺うことができます

痩せていて、顔色が悪い・

こういう可能性は？

- ◆ 身体の病気が隠れているのかも
- ◆ 睡眠がとれていないのかも
- ◆ 食事がとれていないのかも
- ◆ 気分の落ち込みやイライラがあるのかも



- ・ 穏やかに声をかけ、心配しているので話がしたいことを伝える。
- ・ 時間をじっくりとって話を聞く。
- ・ 「困っていること」をききとり学生相談室へつなぐ

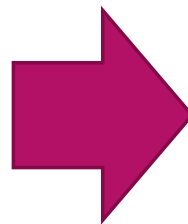


学生相談室では医療機関への紹介も行います。
学生が不安そうであれば、初回相談は先生に
同席して頂くこともできます。

論文作成中に大学に来なくなった・・・

こういう可能性は？

- ◆ 研究や将来への不安があるのかも
- ◆ 執筆方法で行き詰っているのかも
- ◆ 真面目で、困っていると言えないのかも
- ◆ 精神的な要因（うつなど）があるのかも
- ◆ 計画を立てて進めるのが苦手なのかも



- ・ 穏やかに声をかけ、心配しているので話がききたいことを伝える。
- ・ 困っていることは相談してもよいことを伝える。
- ・ 理由に応じ、対応方法を考える
- ・ 精神面が気になる場合は学生相談室を紹介する

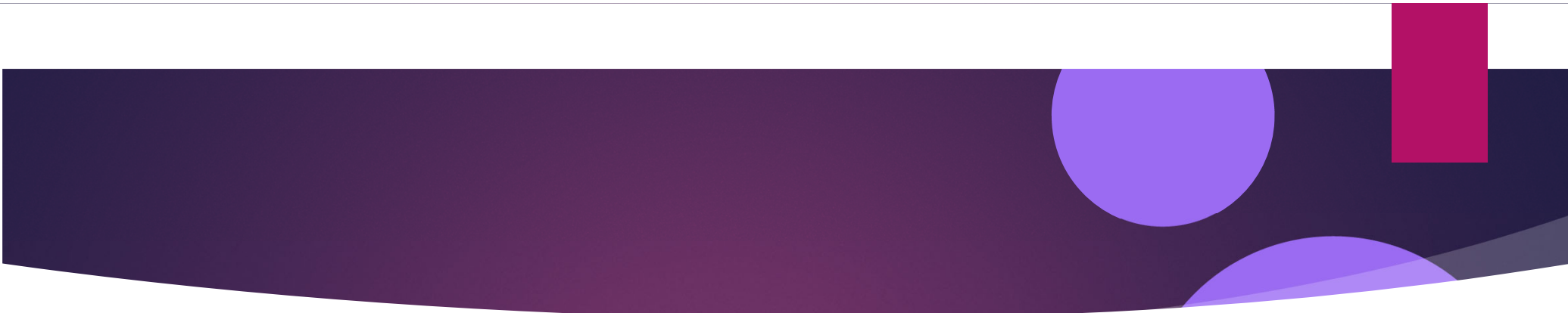
学生相談室では
教職員へのコンサルテーションも行っています。



対応方法として共通するのは・・・



- ◆ 「最近、どうしたの」「心配だから話を聞かせてね」など学生の困りに気づき、共感的に聞いて頂くと安心に繋がります。
- ◆ 短い時間だと、学生もうまく言葉にできず「大丈夫です」で終わることもあります。時間を取り、困りごとをゆっくり聞いていくことも大切です。
- ◆ 状況によっては、言葉かけに敏感な場合もございます。
「穏やかに」「ゆっくり」「優しく」話しかけると話しやすくなります。
- ◆ 学生相談室への相談に敷居を感じることもあるでしょう。相談室について丁寧にご説明頂いたり、予約方法などを伝えていただくと安心に繋がります。



引き続き

学生の皆さんが

安心して大学生活を過ごせるように・・・



ぜひお気軽に学生相談室をご利用ください。

学生相談室 022-277-6211